

授業科目 社会福祉学研究特論Ⅲ (ソーシャルワーク研究)	科目概要・形式 2単位 30時間	配当年次 1年 前期
科目責任者	杉山 克己	
担当者	杉山 克己, 児玉 寛子	
1. 科目のねらい・目標 まずは、ソーシャルワーク実践を「研究」するための基本的な方法の獲得を目指します。その為に、ソーシャルワーク研究の目的との関係で、その対象・方法についてソーシャルワーク研究の事例を通じて学びます。このプロセスの中で、各自の興味関心を明確化し、それにそった研究計画の作成までは到達したいと考えています。		
2. 授業計画・内容 PartⅠ【杉山克己】(1)～(5) ソーシャルワーク研究の概要理解。「研究」とは何か、ソーシャルワーク研究の歴史、ソーシャルワーク研究の目的論・対象論・方法論について解説します。 PartⅡ【児玉寛子】(6)～(10) ソーシャルワーク研究の事例研究。ソーシャルワーク研究を幾つかの類型に分け、それぞれについて具体的な研究の目的、対象、方法等について整理しながら、ソーシャルワーク研究について理解を深める。同時に、各自の興味関心を明確にしていくディスカッション等も行っていきます。 PartⅢ【杉山克己・児玉寛子】(11)～(15) 受講者数にもよりますが、各自のソーシャルワーク研究計画を作成するために何が必要かなどを整理し、実際に実行してもらいます。数度のグループディスカッションを経て、最終的には各自の研究計画をまとめ、発表してもらいます。		
3. 教科書、参考書 (教科書) なし (参考書) 日本社会福祉学会誌等、社会福祉関連学会の学会誌を参考に用いることがあります。その他の参考書等は随時紹介いたします。		
4. 成績評価方法 出席状況、演習、プレゼンテーション、レポートなどを勘案して、総合的に評価します。		
5. 受講要件 特にありませんが、グループディスカッションやプレゼンを含みますので、留意してください。		
6. 社会人学生に対する配慮 Web ラーニングシステムでの受講を希望する方は、事前にご相談下さい。		
7. その他 日程および内容に関しては、ご要望があれば遠慮なくお伝え下さい。すべての要望に添えるとは限りませんが、できるだけ努力はします。		